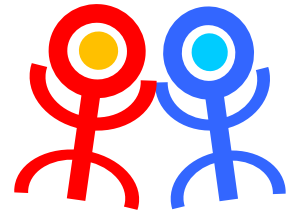


たましろの郷より

9月号

たましろの様子や今後の予定をお伝えするページです。



☆施設からの報告《施設運営》

今までは、施設運営の現状をお伝えしてきました。
今回は、現在の福祉制度からみた施設の課題と、運動体としての法人からみた都内の“ろう重複者”福祉の展望なども含めて報告してみたいと思います。

◆障害者にとっての“障害”とは？

自立支援法の廃案に伴って発足した障害者制度改革促進会議・福祉部会は、新法案起草にあたっての最低限の要望として60項目に及ぶ「骨格提言」をまとめました。基本理念として「障害は社会環境との関係で軽くも重くもなる」と訴えた上で、『自立支援法』＝障害を自分で克服し自立することを支援する事を目的としている。『骨格提言』＝社会が障壁をなくして、障害者が安心して暮らせる法律をつくることと明確化しており、この理念からいえば昨今唱えられている障“害”者か？障“がい”者か？等にこだわるのではなく、社会環境が「障“害”者を作り上げているのだ」となるのです。

◆総合(自立)支援法と「総合福祉法」

自立支援法の違憲訴訟は「廃案」という基本合意に基づいて和解し、これを機に骨格提言がまとまったのですが、障害者の強い要望であった“応益負担の廃止”には全く手を付けず、旧法とほとんど同じ内容で、名称のみ“自立”から“総合”支援法に変えて成立させた「名称が無くなったことで実質的“自立支援法”は廃案となった」というのです。

また、「障害程度区分」の全面廃止要望に対しても、「2014年までには見直す」に止まり、これも“程度”区分から“支援”区分と名称のみ変えた旧法のままになるかもしれません。

だからこそ、障害者自己責任、家族責任から、社会全体の問題とした骨格提言に基づく『障害者総合福祉法』の一刻も早い成立を目指した取り組みが必要になってくるのです。

◆ろう重複者2,950人の対策

施設＝たましろの郷は、入所施設と日中生活介護の両事業併せた50人と、短期宿泊利用者の生活や就労支援に責任を持って取り組むことが義務づけられています。

しかし、基本となる対象者は、あくまでも施設の利用契約を締結した50人なのです。

都内に生活する「ろう重複者」は、3万5千人聴障者の約10%程度と言われており、少なくとも3千人はいると思われるが、では施設利用者以外の2,950人のなかまたは、いまどこで、どんな生活をしていて、日常のコミュニケーションが保障されているのだろうか？など何もわからないままなのです。

福祉事業の経営母体であると共に、ろう重複者に関わる専門機関として

の運動体でもある「法人」としては、次の課題としてこの2,950人対策が大きな課題となってくるのです。

この取り組みについては、またの機会に報告させていただきます。

☆2012夏祭りを行いました

7月28日(土)、11回目の夏祭りを開催しました。
模擬店関係はボランティア団体からのご協力をいただき、例年通りの模擬店と、今年度初の取り組み、「縁日ブース」が並びました。

例年は、たましろの中庭に食べ物中心の模擬店が並んでいましたが、今年はひと工夫！作業棟も開放し、「縁日」っぽく、輪投げやヨーヨー、絵画スペースなどを設けて、縁日の雰囲気をも身体でも楽しめるようにしました。

作業棟の壁には、趣味を凝らした墨絵や貼り絵、陶器など、なかまの力作を展示しました。



輪投げ。たくさんの豪華賞品が並びます。



バルーンアート。犬やお花の形を作れました。



絵画コーナー。絵の得意なボランティアさんが、アンパンマンやなかまの似顔絵も描いてくれました。



縁日の定番!ヨーヨーです。



一人ひとりの絵や、レクリエーションの時間にみんなで作成した「折り紙で作った野菜」や「巻き絵(小さな紙を丸めたものを貼りつけて、一つの絵を作り上げるもの)で作ったアジサイ」、陶芸作業で作成したお皿などです。

中庭の舞台では、開会式が終わるとすぐに模擬店開始です。準備の時間から販売開始を心待ちにしていたなかまやボランティアさん。どの模擬店も大盛況で、長い列が出来ていました。クレープやかき氷など、デザートから食べ始めるなかまもいました。



あれっ?虹色のかき氷…!
「シロップを全部かけて」とリクエストしたなかまがいたようです。

なかまが模擬店を楽しんでいる時間、厨房の職員は仕込みに大忙し、舞台裏では、なかまの舞台発表に向けて準備が進みます。



おいしく、たくさん食べて欲しい!という気持ちをこめて、厨房大忙し!



職員は、舞台裏で道具の準備!

お腹が一段落すると、なかまの舞台発表。
今年は、自由参加型で、スイカ割り、腕相撲、パン食い競争などを行いました。



腕相撲、優勝はだれかな?!
がんばれ!

なかまの舞台発表のあとは、お待ちかねのゲストの舞台です。
毎年来て下さる方々で、なかまも楽しみにしていました。



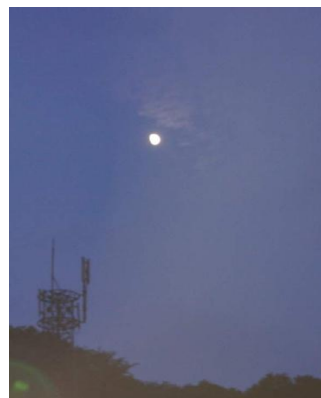
東聴連加藤さんの和太鼓は、なかまも一緒に叩かせてもらいました。



お次は、地元・上長渚のはやし連。なかまも身体を揺らしたり手を動かしたりしながら観賞しました。



依田バンドの演奏。手話付きで歌ってくれます。以前なかまが歌った「となりのトトロ」の手話歌も演奏してくれました。



依田バンドの演奏で、盆踊りも盛り上がりました。盆踊りがとても上手なボランティアさんがいて、お手本になってくれました。
なかまも、この日の為に朝の体操の時間を使って踊りを練習してきました。
おかげで、上手に踊れた気がします。
「月が～出た出たあ～♪」の歌に合わせて、本当に月も出ました！



最後はなかま手作りのおみこし。中庭を何周もしました。



おみこしは、こんなにかわいいものでした。
たましろマークに、うさぎのぬいぐるみ付きです。

ボランティアさんをはじめ、多くの方々のご協力の下、楽しい夏祭りを行うことが出来ました。本当にありがとうございました。
また来年も、よろしくお願いいたします！

☆夏休み報告

8月11日(土)～15日(水)は、たましろの郷の夏休みでした。
夏休みを施設で過ごしたなかまは約10名。
近所に買い物に行く日を設けたり、のんびりする日があったりする中で、14日(火)には、全員で横浜に遊びに行ってきました。
豪華にクルージングで昼食をとり、カップラーメンミュージアムを見学し、楽しい1日となりました。
お盆で大変に混んでいたようで、帰ってきた時には「疲れた」「暑かったー」などの声が聞かれましたが、表情を見ると、充実した1日だった様子がよくわかりました。あれこれ迷ってお土産を購入したなかまもいたようです。

また、中庭には毎日のようにビニールプールを出しておきました。プールが大好きななかまは、朝食が終わるとさっそく水着に着替えて、自分で水を溜めて、ばしゃばしゃと泳ぎました。けっこう大きなプールで、水中メガネ装着で浮き輪も持ち込み、本格的な水遊びでした。



8月16日(木)から作業開始。午前中はなかまの報告会を行いました。
外泊していたなかまも勢揃いし、それぞれの夏休みの思い出を発表し合いました。

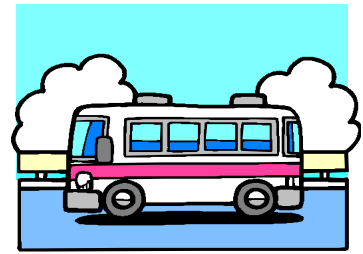
☆研修旅行に行ってきます

9月20(木)～21日(金)、1泊2日で、全利用者と職員で研修旅行に行ってきます。

毎年恒例の秋の旅行、今回の行き先は、長野県です。

大型の観光バス2台で、観光地を回り、美味しい物をたくさん食べて、温泉に入って、夜も宴会をして…という、盛りだくさんの楽しい旅行です。

来月号で楽しい報告を出来るように、写真もたくさん撮ってきます！



☆その他 最近のたましろ

◆埼玉県「ふれあいの里どんぐり」の夏祭りに招待していただき、楽しむことができました。

◆近くの老人ホーム「長渕園」の盆踊りに招待していただき、遊びに行きました。

☆ボランティア募集

たましろの郷では、日中活動に協力して下さるボランティアさんを、随時募集しています。手話など、特別な技術はなくても参加できます。

作業や余暇など、一緒にいて頂くだけでも大歓迎です。

○日中活動ボランティア

たましろでは、委託清掃、製菓(クッキー)の他に、軽作業、レクリエーション等の活動に取り組んでいます。手話や特別な技術よりも、一緒に過ごして楽しんでもらえるボランティアさんを、いつでも受け入れています。

施設内の主な活動

	月	火	水	木	金
午前	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業
午後	軽作業 レク	軽作業 レク	軽作業 レク	軽作業 レク	軽作業 レク

※毎日午後はレクを行っています。

レクの内容は、スポーツ、ドライブ、調理、ビデオ鑑賞、生活支援などです。

※平日は、送迎バスを利用できます。事前にお問い合わせください。

○休日余暇活動ボランティア

施設のなかま、職員と集団で一緒に過ごします。

職員が一緒におりますので、ご都合に合わせて気軽に遊びに来て下さい。

余暇の活動内容は、ボランティア情報をご覧ください。

☆9月ボランティア情報はこちら

こちらから9月のボランティア情報をご覧ください。

※ボランティア便り9月号.pdfをリンク。